

1. 建物概要

建物名称	(仮称)大日工業 新本社第1工場・第2工場 建築工事(新本社第1工場)	BEE	1.1	BEEランク	B+	★★★
------	-------------------------------------	-----	-----	--------	----	-----

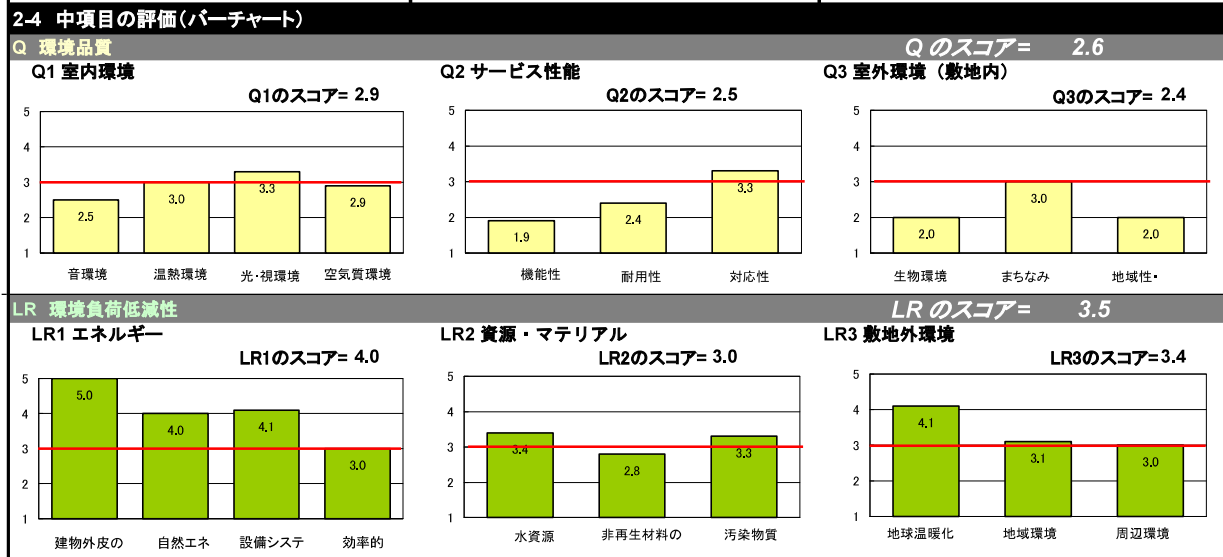
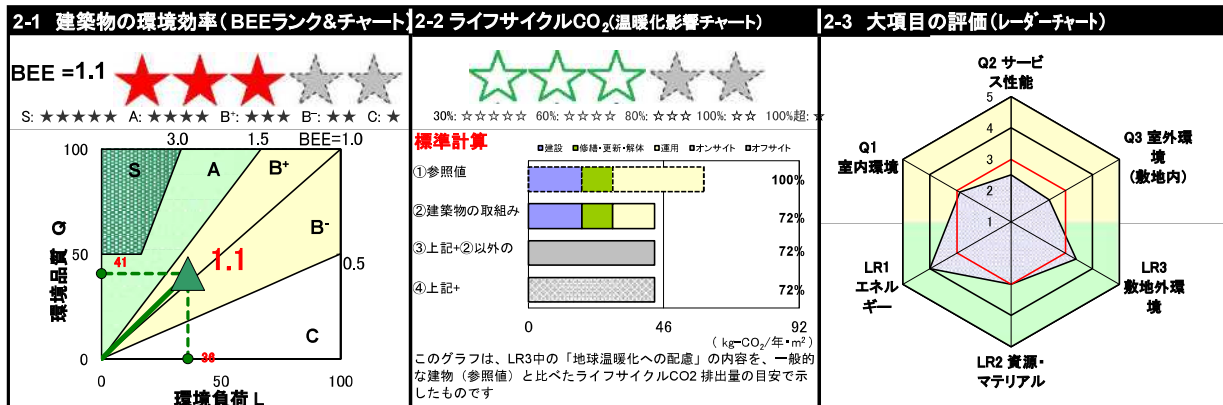
2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5 /5	     	ふつつ 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.2 /5	     	がんばろう 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.3 /5	     	がんばろう 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5 /5	     	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上  がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。	内訳対応項目	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)	得点	3.5
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ③ロールスクリーン、底によりグレア制御	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑化指数=45%	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率運用) ⑦BPI=0.57 ⑧トップライト、2方向以上への開口 ⑨BEI=0.46	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪省水型機器 ⑬基礎断熱材ODP=0、GWP=3	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭CO2排出量72%(対参照値)	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)	得点	2.2
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰節水型器具の採用 ⑰非常用発電設備の設置	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)	得点	2.3
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高=3.75m ⑲壁長さ比率:1F:0.086、2F:0.137	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ⑲視線を遮らない樹木の設置	Q-3 3 3.1	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)	得点	2.5
■室外環境(敷地内)対策 (⑲生物環境の保全と創出/⑲まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥緑地等対策面積率=21%	Q-3 1 ⑤ 2 ⑤ 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑤ まちなみ・景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/⑲温熱環境悪化の改善) ⑲見付面積比33%、隣棟間隔指標Rw=3.2	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑲ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 温熱環境悪化の改善

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大日工業(株) 新本社第1工場	階数	地上2F
建設地	静岡市清水区原字善念寺674番1、1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法第22条区域	平均居住人員	132 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,300 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2024年9月24日
敷地面積	6,798 m ²	作成者	菅澤 庸史
建築面積	3,829 m ²	確認日	
延床面積	4,794 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		
これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。建築基準法他諸法令を遵守し、かつ、省エネルギー性の高いものを選定することにより、環境に配慮する計画とした。また、落ち着いた色彩や柔らかなみのあるファサード、接道部の緑化などにより、親和性に富む敷地利用・建物計画となるよう配慮した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
建築基準法他諸法令を満たす室内環境を維持するよう計画している。	利便性・安全性の高い建築物となるよう計画した。高耐久な内外装材の使用や、ゆとりのある階高の設定により、サービス性能を高めている。	外観は原色系の色彩や奇抜なデザインを避けた。また、緑化計画を行うことでより良好な景観になるよう努めた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI=0.57、BEI=0.46を確保し得る外皮・設備を計画し、省エネに配慮した。	省水型機器を積極的に採用した。	諸法令を遵守する最低限の取り組みを行っている。また、十分な駐車スペースを設けており、利用者が利用しやすいよう配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される